

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
※帰国後2週間以内に提出(送信)してください。
※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	University of Applied Sciences Upper Austria	氏名	
国名	オーストリア	学籍番号	
留学期間	2024 年 9 月 ~ 2025 年 7 月	記入年月日	2025 年 8 月 1 日

1	履修したすべての科目についてお書きください			
	主な専攻分野: 経営・物流管理			
	科目名	Managing Across Borders and Cultures	科目名	Intercultural Management
	授業内容	国・文化が異なるチームをどのようにまとめるかを学ぶ。	授業内容	異文化の違い学ぶ、国際的なチームの管理職として問題の解決方法を学ぶ。
	授業形式	レクチャー	授業形式	レクチャー
	単位数	3.0 ETCS	単位数	3 ETCS
	サイズ	20人	サイズ	15人
	難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	簡単
	宿題の量	多い、毎週課題のテキストを読む	宿題の量	ほとんどない
	コメント	授業内で課題が与えられ、プレゼンをしなければならなかった。また、最後の課題はグループでのプレゼンだった。プレゼンまで日にちがあったが、遠くから通う学生、働いている学生もいたため、話し合いのための日程調整をするのが難しかった。	コメント	基本的にはレクチャー形式だが、たまに授業内でグループワークもある。教授が、テーマごとに各国の学生にその国ではそのテーマがどう捉えられているかを聞いてくれるので、異文化間のマネジメントの違いを学べる。
	科目名	Ledership	科目名	Conflict Management
	授業内容	リーダーシップの概念についての基礎的な理解を提供し、学生が自身のリーダーシップスタイルや行動を見直し、発展させる。	授業内容	異文化間、職場などにおける対立の対処方法を身につける。認知的理解から実践的な演習、実際の対立の観察までを含み、最終的には「どう対応すべきか」を学ぶ。
	授業形式	Intergrated course	授業形式	セミナー
	単位数	3 ETCS	単位数	3 ETCS
	サイズ	20人	サイズ	20人
	難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	簡単
	宿題の量	普段は少ないが、期末の課題は多かった	宿題の量	普段はないが、期末課題がある。
	コメント	毎授業、グループワークがあった。授業の前半はリーダーシップについて学び、後半はそれを実践するためにグループワークをした。ゲーム形式のものが多かったため、楽しみながらリーダーシップについて学べた。	コメント	グループワークが中心の授業だった。すべてのグループワークでconflictが与えられて、それをチームメンバーで解決していった。またロールプレイも多く、他人の立場になって対立の対処方法を学ぶことができた。

科目名	Practical Introduction to studies (Winter semester)	科目名	Professional Performance in a Globalized World (Winter semester)
授業内容	留学中の学習成果を最大化するために、異文化理解と実践的な準備に焦点を当てる。特に、オーストリア・シュタイアでの生活と学業の実践について学ぶ。	授業内容	異文化環境で柔軟に行動する力を養う実践的セミナーだった。教室内外の課題を通じて現地の人と交流し、自分自身や文化の違いへの理解を深ることを目的とする。
授業形式	Integrated course	授業形式	Integrated course
単位数	3 ETCS	単位数	2 ETCS
サイズ	40人	サイズ	40人
難易度 Course No.	簡単	難易度 Course No.	簡単
宿題の量	期末のみ課題あり。	宿題の量	期末のみ課題あり。
コメント	留学生は必修の授業だった。カルチャーショックについて、同じ国、近い国どうしてグループを作ってビデオを作成した。学期末にビデオの上映会があり、みんなで鑑賞した。その後投票をして、優勝チームを決めた。文化が違っていると、同じ国で勉強していても感じるカルチャーショックが違っていると学べて面白かった。	コメント	留学生は必修の授業だった。留学生向けの1番最初の授業で、自己紹介やグループワークをして学生同士仲良くなるための授業だった。留学生が多いため、この授業がなければ仲良くなるきっかけがなかった友達も多いと感じた。
科目名	Austrian Culture and Civilization	科目名	German for Beginners
授業内容	オーストリアの地理・歴史・文化・社会・政治・経済について基礎知識を学びます。伝統やマナーも取り上げ、オーストリア全体のイメージをつかむことを目的とする。	授業内容	初級ドイツ語の基礎を学び、日常や教育場面での基本的な会話・読解・作文能力を身につける。発音練習やロールプレイを通じて実践力を高める。
授業形式	Integrated course	授業形式	Integrated course
単位数	4 ETCS	単位数	3 ETCS
サイズ	20人	サイズ	10人
難易度 Course No.	簡単	難易度 Course No.	簡単
宿題の量	毎授業予習あり。期末課題あり。	宿題の量	
コメント	オーストリアの歴史、政治、宗教、経済について学んだ。毎回予習課題が出された。オーストリアの各テーマについて事前に調べてるという内容だった。オーストリアの文化について深く学ぶというよりは、様々なテーマについて浅く広く学ぶという感じだった。	コメント	実践的なドイツ語を学ぶことができた。あまり文法には焦点を当てず、会話練習がほとんどだった。オーストリアで生活する上で必要最低限のドイツ語を中心に教えてくれたので、授業後すぐに役立つことが多かった。
科目名	Cross-Cultural Negotiations	科目名	Global B2B Marketing
授業内容	ビジネス交渉の基本概念や手法を学び、性格・非言語・異文化・AIなどの影響を理解します。ケーススタディやロールプレイを通じて実践力も養う。	授業内容	グローバル環境がB2Bマーケティングに与える影響を学び、市場に応じた戦略・手法の適応や国際的なマーケティング戦略を学ぶ。
授業形式	セミナー	授業形式	レクチャー
単位数	2 ETCS	単位数	2 ETCS
サイズ	15人	サイズ	15人
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	たまに予習課題あり。期末にグループのプレゼンあり。	宿題の量	期末にグループのレポートとプレゼン、個人レポートあり。
コメント	ビジネスの専門用語を多く使った授業だった。ビジネスの知識がある前提で授業が進められていったので、理解するのが少し難しかった。	コメント	ビジネスの専門用語が多く使われていたの、その知識がないとついていくのが難しかった。特に授業内で課題が与えられて、プレゼンをしなければならないグループワークの時は、グループの話し合いについていけなかった。

科目名	Intercultural Management "MASTERING STRATEGY IN INTERCULTURAL ENVIRONMENT"	科目名	Leadership (Summer semester)
授業内容	国際経営の重要性や最新動向、異文化対応、人事戦略、交渉・対立解決法について学ぶ。	授業内容	リーダーシップの概念を学び、自身のスタイルを見直し発展させることを目的とする。
授業形式	レクチャー	授業形式	Integrated course
単位数	3 ETCS	単位数	3 ETCS
サイズ	15人	サイズ	15人
難易度 Course No.	簡単	難易度 Course No.	普通
宿題の量	期末のみ課題あり。	宿題の量	期末にグループレポートとプレゼンあり。
コメント	ケーススタディを通じた実践的理解が中心の授業だった。文化とその違い、異文化コミュニケーション、国際交渉、多様なチームでの協働、倫理と社会的責任について学ぶことができた。最後の授業に授業の内容について筆記試験があった。	コメント	授業内で、クラス全体でゲームをしてリーダーシップをどのように発揮するか実践的に学べた。また、外部の講師を招いて、どのように管理職として働いているか詳しい話を聞くことができた。
科目名	Applied Psychology	科目名	Entrepreneurship & Business Entry Models
授業内容	応用心理学の基礎を学び、人格・動機づけ・ストレス・葛藤・チーム発展などを理解し、人間行動を科学的に捉える力を身につけることを目的とする。	授業内容	グローバル競争下での起業・組織マネジメントを、テキストやケーススタディを通じて学ぶ。
授業形式	Inegrated course	授業形式	Integrated course
単位数	1 ETCS	単位数	2 ETCS
サイズ	15人	サイズ	10人
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	期末にグループプレゼンあり。	宿題の量	期末にプレゼンあり。
コメント	授業の最終回にグループのプレゼンがあった。そのテーマは自分で選ぶことができた。留学生以外にも開講されている授業で、幅広い年代、バックグラウンドを持つ人と学ぶことができた。	コメント	スタートアップと国際経営の基本を学び、新興市場での戦略、ピッチ作成、HRM、交渉・対立解決法、社内起業思考、オーストリアでの起業方法などを授業で学ぶ。授業の最終回で自身の起業の計画をプレゼンテーションをした。
科目名	German Lower Intermediate	科目名	Practical Introduction to studies (Summer semester)
授業内容	中級レベルの英語運用能力(会話・読解・作文・文法・語彙)を身につけ、公共・私的・教育的な場面での会話を学ぶ。	授業内容	Winter semesterに同じ。
授業形式	Intergrated course	授業形式	Integrated course
単位数	4 ETCS	単位数	3 ETCS
サイズ	10人	サイズ	30人
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	簡単
宿題の量	回課題が出る	宿題の量	期末に課題あり。
コメント	全員が初心者のGerman for Beginners とは違って、生徒のドイツ語のレベルがバラバラだった。留学してから初めてドイツ語を学ぶ学生もいれば3年も勉強している学生と一緒に学んでいた。そのため、授業内容は少し難しいと感じた。	コメント	留学生の必修科目。Winter semesterに同じ。

	科目名	Professional Performance in a Globalized World (Summer semester)	科目名	
	授業内容	Winter semesterに同じ。	授業内容	
	授業形式	Integrated course	授業形式	
	単位数	2 ETCS	単位数	
	サイズ	30人	サイズ	
	難易度 Course No.	簡単	難易度 Course No.	
	宿題の量	期末に課題あり。	宿題の量	
	コメント	留学生の必修科目。Winter semesterに同じ。	コメント	
	科目名		科目名	
	授業内容		授業内容	
	授業形式		授業形式	
	単位数		単位数	
	サイズ		サイズ	
	難易度 Course No.		難易度 Course No.	
	宿題の量		宿題の量	
	コメント		コメント	
	科目名		科目名	
	授業内容		授業内容	
	授業形式		授業形式	
	単位数		単位数	
	サイズ		サイズ	
	難易度 Course No.		難易度 Course No.	
	宿題の量		宿題の量	
	コメント		コメント	

2	授業において困ったこと、その解決法について教えてください 私以外の他の留学生はビジネス関連の学部で、自分だけビジネスに全く関係のない学部出身だった。そのため他の人よりビジネスの知識がなく、授業についていくのが難しいことがあった。教授が専門用語をその説明なく使うときや、課題にその言葉が使われたときは理解するのに他の生徒より時間がかかってしまった。また、授業内の課題が普段の日本の大学とは異なるため、慣れるのに時間がかかった。授業内に課題が出され、20分以内にグループで話し合い、スライドを作り、プレゼンをするという課題が多かった。授業の内容と課題を理解するのに時間がかかるため、グループでの話し合いについていけず、グループワークに参加できず終わってしまうことがあった。しかし、授業資料を授業前に読み込んで、知らない専門用語について学んでおくことで、この困難を解決することができた。
3	授業以外の活動についてお書きください 定期的にパーティーが開催されていた。カラオケパーティーや、ゲームナイトなどがあった。夏タームは現地学生が出店するバーがオープンしていた。このように授業以外でも他の留学生や現地学生と交流する機会があった。また、サッカー、バレー、ダンスのスポーツクラブもあった。
4	寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください 寮(またはアパート、フラット)名とその場所 Studentinwhonenheim, Schlusselfhofgase 63 4400 Steyr 設備についての簡単な説明 各部屋にシャワー、トイレあり。2階と4階にキッチンあり。洗濯機、乾燥機あり。 部屋について 2 人部屋 広さ 12 畳くらい ルームメートについて 学期前半はカザフスタンからの学生、後半はミャンマーからの学生と同部屋だった。だいたい似た文化や国の学生と同じ部屋にしてくれるよう配慮してくれているようだった。 寝具や生活用品の入手方法 寝具は寮から借りた。カバー等は日本から持っていった。キッチン用品は現地で購入した。 生活の感想 本来は高校生向けの寮に住んでいたのですが、他の大学生向けの寮に比べてルールが厳しかった。そのため、キッチンや洗濯室などの共用スペースが汚く荒れているということはなく快適だった。また、清掃に週末・長期休み以外は床、トイレ、シャワーすべてを清掃してくれるため部屋を綺麗に保つことができた。留学生歓迎パーティーやシーズンごとのパーティーなどを定期的開催してくれたため、寮での生活を楽しめた。部屋と入り口はオートロックだったため、安全だと感じた。また、スマホのアプリを使用しても鍵を開けることができるため、鍵本体を忘れたときでも安心だった。他の寮より大学までの距離が離れているが、その分静かで落ち着いていた。
5	食事についてコメントを書いてください 寮の食事は、メインとスープとサラダが毎回用意されていた。

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	AIG保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	Österreichische Gesundheitskasse	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	なし	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	120,000 円
	帰国旅費	130,000 円
	引越し(往復で)	30,000 円
	保険	250,000 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費	0 円
	本学学費	10,000 円
	教材費	20 3,400 円
	住居費	3,240 550,800 円
	食費	2,000 340,000 円
	その他(現地健康)	444 75,480 円
	()	円
	()	円
	合計	1,014,680 円
	換算率 (1 = 170 円)	
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください	
	業務スーパージャパンドリーム財団 奨学金	
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	歯ブラシ。オーストリアの歯ブラシはブラシの部分が大きくて磨きにくそうだと感じた。	
	留学前にしておけばよかったこと	
	ドイツ語の勉強をしておけばよかった。協定校の選考基準が英語のみだったこと、現地大学での授業が英語で行われることもあり、ドイツ語の学習に力を入れていなかった。第二外国語でドイツ語を履修していたものの、現地で暮らすための必要最低限のドイツ語は習得できていなかった。そのため、買い物やレストラン、カフェで現地の人が何をいっているのか理解できず、苦勞した。津田塾のドイツ語のチャットルームに積極的に参加するなどして、実践的なドイツ語を身につけてからいけばよかった。	

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください 学習面では授業内で、グループで話し合っ てプレゼンを完成させて発表するという課題の形式は適 応しにくかった。日本だとプレゼンをする時は事前に準備する時間があることがほとんどだが、現地大学では授業内の短い時間で、話し合い、スライド作り、発表の内容を考えなければならなかった。そのため現地学生はAIを駆使していたが、私はそれに慣れていなかったためスライド作りやグループワークにあまり参加できなかった。生活面では、日曜日にカフェ・レストラン以外のすべての店がしまっているということに慣れるのが大変だった。スーパーも閉まっていたので、土曜日までに必要なものを買っておく必要があった。
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 学習面では、多くの授業を通して異文化間のマネジメントの違いについて学ぶことができた。国際的なリーダーになるためには、その違いについて学び、多様な文化背景や価値観を尊重し、柔軟に対応できることが必要だと学んだ。精神面では、多国籍の環境で生活することで、他文化に対する配慮を学べたと思う。政治的、宗教的な話をするときは相手に、気分を害する話題ではないか確認をとるなど、相手の文化に対する敬意を身につけることができた。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください ヨーロッパで日本の製品がたくさん使用されているのを見て誇らしくなった。そのため就職先は海外ではなく日本の企業にしたいと考えている。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします 多くの国から留学生が来ているため、異文化交流ができて楽しい。ドイツ語圏の大学だが、英語で授業をして、多国籍の友達と英語で会話をするので英語が伸びる。ビジネスについて実践的に学ぶため、国際的な会社で働くこと、国際的なグループの管理職になることについて擬似的な体験ができる。そのため将来海外で働きたいと思う人におすすめの留学先だと思う。
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(☒ 許可する(写真含む) ☐ 写真掲載のみ不可 ☐ 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



毎タームに行われるInternational fairで日本食を振る舞った時の写真



留学生で近くの大きな町まで遠足に行った時の写真